

令和7年度 横浜市社会教育コーナー 管理運営報告書

事業対象施設:横浜市社会教育コーナー 横浜市磯子区磯子3-6-1-1

事業期間:令和7年4月1日~令和8年3月31日

管理運営団体:特定非営利活動法人 夢・コミュニティ・ネットワーク

1 生涯学習・地域活動団体へ安全・安心な場の提供

(1)開館日数:345日

休館日(原則毎月第1月曜日&年末年始 全20日)

(2)利用率・利用人数・利用コマ数(別紙:利用状況年間報告書)

(3)登録団体数:353団体(令和8年3月31日現在)

分野	登録数	分野	登録数	分野	登録数	分野	登録数	分野	登録数
テニス	98	ダンス	41	合唱	37	絵画	18	楽器演奏	16
市民活動	15	太極拳	13	体操	12	自治会・管理組合	10	卓球	9
読書・朗読	9	健康福祉	9	手工芸	7	外国語	7	青少年育成	7
俳句・短歌	6	子育て支援	6	生け花・フラワーアレンジメント	4	多文化共生	4	書道	3
演劇	3	ヨガ	2	囲碁・将棋	2	ゲーム	2	武道	1
詩吟	1	その他	11						

利用者・団体の変化

- ・全体の登録団体数は令和6年度365団体、現在353団体
- ・新規利用登録団体総数は119団体(令和6年度は60団体)うち、49がテニスの団体
- ・合唱、絵画、子育て、健康福祉、卓球等、多様な活動団体が新規に登録し、活動を開始している

(4)そのほか

10月10日 トレーニングルーム前廊下天井一部崩落

10月23日、24日 専門業者による天井点検作業 危険個所対応

2 施設の防災・防犯対策

(1) 緊急時の対応

- ・7月30日に「津波に関するアナウンス」があり、利用団体3団体に活動の中止および速やかな帰宅を伝えた。帰宅に不安がある方を区役所7階に避難誘導した
- ・上記について教育委員会職員と共有した。磯子区役所総務課にあいさつし、災害時の対応について再確認した
→その後、再整備された「危機・災害対応マニュアル」を事務室に掲示した

(2) 消防訓練の実施

- ・施設内で地震、火災が起きた場合を想定し、磯子消防署の指導のもと、スタッフで避難誘導について学んだ。消防訓練:12月8日
- ・利用者と共に地震が起きた場合を想定し、避難訓練を実施した。避難訓練:2月9日

(3) 施設内の消火器設置場所、避難をする際の非常灯の場所は日々の業務の中で確認している

(4) 協栄美装(株)による消防施設設備点検(11月10日) 消防署への報告(1月16日)

(5) 「内水ハザードマップ」では1時間約150mmの雨で内水氾濫が起った際、2cmから20cmの道路冠水相当となることわかっている。浸水時や地震の際の避難場所は磯子区役所となる。また、地域防災拠点は森東小であることをスタッフ全員で地図を用いて確認している

(6) イベント内で、AEDの体験コーナーを設け60人参加

3 生涯学習・社会教育に関する相談・コーディネート・情報提供

全相談件数(72件)

4月(10件), 5月(14), 6月(10), 7月(12), 8月(13), 9月(13), 10月(20), 11月(17), 12月(8), 1月(10), 2月(15), 3月(11)

- ・社会参加のすそ野を広げるために、施設案内をはじめ講座やイベントの情報提供を丁寧に行った
- ・市民の学習活動が活発になるよう、職員がきめ細やかに対応し、関係各所につながるようコーディネートした
- ・生涯学習関係職員の相談に対しては、「担い手育成」講座等への助言や必要な情報を提供した
- ・生涯学習文化財課の出前研修では中央図書館に出向き、「図書館ビジョンにみる連携・協働・共創」と題して、地域資源やつながりの再確認をテーマにワークを行った

4 社会教育コーナーの評価・検証

(1) 利用者アンケート

- ・利用者による施設利用の実態を調査し、今後の運営の参考に資することを目的とした「利用者アンケート」を実施した。・実施日:11月18日より12月17日 ・回収:328件
- ・結果を集計。館内に掲示した
- ・施設の利用環境についての項目では、70%が「使いやすい」と回答したが、施設・設備等老朽化の指摘や、web予約のシステム化を求める声も挙がった
- ・団体間交流や発表の場を求める声が前年に比して1割ほど(58%→64%)増えており、館内で企画している絵画サークルの作品展示の説明会や、親子連れを対象にしたイベント実施の要望もみられた

(2)利用者会議の実施(活動団体ヒアリング)

- ・活動団体の支援を目的に、団体の状況や課題、今後に向かいやりたいこと等についてヒアリングを実施した。それぞれの活動がより楽しく、より広がるように、職員が個別に丁寧に聞きとった。
- ・実施日:1月9日より2月1日 実施:11 団体

(3)窓口に「ご意見箱」の設置。施設利用の点検確認票に職員への連絡事項の記入欄を設け、常に利用者の意見を受け取れる環境を設けている

5 業務に関する研修

(1)施設の管理運営に関する研修

- ・防災実習訓練:実施日:12月8日

(2)個人情報保護に関する研修 実施日:4月15日

(3)生涯学習、社会教育等に関する研修

- ・横浜市教育委員会 市民活動・地域活動 新任者研修 説明(4月22日)
- ・横浜市教育委員会 市民局 各区市民活動支援センター機能強化事業 全体研修 参加(5月16日)
- ・神奈川県教育委員会「社会教育担当者コース」学習プログラム 受講(6月20日、11月18日)
- ・横浜市教育委員会社会教育研究会 (6月27日、10月21日、1月19日)

出前研修等の実施

- ・横浜市教育委員会 中央図書館出前研修 (3月12日)

社会教育実習生の受け入れ

- ・駒澤大学文学部社会学科社会学専攻3年生 9日間 41時間
内容:社会教育について、いそご区民活動支援センター見学、いそご多文化共生ラウンジ、夢ひろば(子育て支援)、夢たま(高齢者支援)、子ども食堂「みんなのテーブル」等での活動体験、社会教育士講座への参加、若者講座の企画等実習生の企画運営講座「モルックを楽しもう！」 実施日:11月30日
- ・筑波大学人間学群教育学類3年生 6日間 24時間
内容:社会教育について、社会教育士講座への参加、いそご多文化共生ラウンジ、夢ひろば(子育て支援)、コミュニティステーション夢まる(高齢者支援)、子ども食堂「みんなのテーブル」等での活動体験

保守管理維持管理報告書

業務	頻度		備考	実施日・結果等
設備建物維持 管理 (建築・電気・消防 設備)	8回/月	管理者点 検	職員による点検	別紙「管理者点検」のとおり
	4回/年	定期点検	業者による点検 消防法上必要書類一式 点検及び館内点検	別紙「設備点検報告書」 のとおり
空調設備の清 掃	6回/年	定期点検	業者によるフィルター掃除・ 点検	別紙「定期清掃作業報告書」 のとおり
第一種特定製 品点検(空調 設備)	4回/年	定期点検	室外機、室内機	別紙「簡易点検チェックシート」の とおり
自動ドア点検	2回/年	定期点検	自動ドア専門メンテナンス	6月2日:各部清掃、締付け 10月6日:各部清掃、締付け
自動火災報知 設備点検票	2回/年	定期点検	専門メンテナンス	5月12日、11月10日 異常なし
防火対象物点検	1回/年	点検	消防法上必要書類一式点 検及び館内点検	11月10日 異常なし
清掃業務	通年	日常清掃	シルバー人材職員および スタッフによる各部屋と トイレ・回廊等の清掃	
	1回/ 2か月	定期清掃	業者による清掃: 床ワックス、網戸、ガラス、 換気扇等中心	4月7日、6月2日、8月4日、 10月6日、12月8日、2月2日 別紙「定期清掃作業報告書」のと おり
	6回/年	定期点検	業者によるフィルター掃除・ 点検	別紙「定期清掃作業報告書」 のとおり
小破修繕	随時			下欄内訳のとおり

小破修繕 内訳			
対応月	内容	対応月	内容
4月8日	ボイラー停止	4月8日	卓球台修理
5月2日	女子トイレスロップシンク工事	9月8日	水道メーター交換
1月25日	ピアノ修理		

◆自主事業報告書

事業の目標1 社会参加

主体的な参加のきっかけづくり

① 社会教育の場の運営

- ・新たな社会参加のきっかけをつくるために、これからのなかにはじめたい人に対して丁寧に聞き取り、実践の機会につながるようコーディネートした
- ・研修室・アートルーム・スポーツ広場等の適切な管理と充実した運営を職員全員で取り組んだ

② ホームページの管理

- ・自主事業をはじめ施設の紹介や実施イベント・講座情報を掲載し広く周知した
- ・施設の空室状況を毎日更新することで、利用者の予約、活動予定を立てやすいようにした
- ・施設の設備の状況など、必要に応じて更新した

③ メールマガジンの発行

- ・施設からの案内や開催情報について、登録者に定期的に配信した。月1回発行した(登録162人)

④ X(旧ツイッター)、インスタグラム、ブログの配信

- ・インスタグラムを介して施設内で行われたイベント、講座の様子、団体の活動などをタイムリーに発信した
- ・X(旧ツイッター)では身近な情報や次のイベント案内等、タイムリーな情報提供を心がけた
- ・ホームページ内にブログ「学びのとびら」を置き、社会教育に関わる情報を提供した

⑤ 掲示板や館内掲示の充実

- ・区版市民活動支援センターより情報紙のデータ化があり、1部を印刷して掲示した。また18区の名称をラックに貼り、情報をまとめたBOXを配置する等、各区の情報をより探しやすい工夫を継続して行った
- ・掲示物の情報を常に更新し、団体の特徴や活動内容がより魅力的に伝わるよう、掲示を心がけた
- ・新たに社会参加に向かう人の参考になるよう、館内に活動団体の情報や作品を掲示し、参加意欲が高まるよう情報を提供した

⑥ 相談・コーディネート

- ・専門の職員(社会教育士やコーディネーター)を配置し、市民の社会教育や生涯学習に関する相談、生涯学習関係職員の相談にきめ細やかに対応した
- ・相談者の学習活動が主体的、かつ活発になるよう、助言や必要な情報を提供した。また、相談内容の記録を蓄積し内部で共有することにより相談業務を円滑に進めた
- ・活動団体につなぐ際には、個人情報保護に配慮するとともに、スムーズに情報提供が行えるように職員間の情報共有を確実にを行った

⑦ 親子の広場

目的:乳幼児をもつ親同士が出会い、子育てや社会的課題について学びあうとともに社会参加の一步を支援する場として開催。「親子の広場」および「英語でリトミック」

内容:季節行事の工作やふれあい遊び、英語でのリトミック体験などを通じて、人と関わりあう楽しさ、友だちと遊ぶ楽しさを体感した。楽しい雰囲気の中で交流を深めることで、親同士がコミュニケーションをとる機会も増えた。この場で出会った親同士が誘い合わせて参加する場面も見られた

日程:全 15 回

対象:未就学児とその親

参加人数:300 人

事業の目標2 つながりづくり

多様な主体との連携・協働の推進

① 社会参加の場づくりと交流 読書活動による「おはなしの国」

目的:読書活動者の育成と実践の場を提供することで、スキルアップにつながり、活動の場も広がった

日程:全 10 回

対象:主に未就学児とその親、および読書活動推進に関心のある大人

参加人数:164 人

内容:団体をコーディネートして「おはなしの国」を開催した。活動団体にアンケートをとり、実施の希望や内容などを調整し、全 10 回を実施

② 学校・地域コーディネーターのネットワークづくり(交流会)

交流・情報交換会を実施し、課題共有やプログラム・書類づくりについて学びあう「学校地域コーディネーターしゃべり場」を実施。対面以外に、日頃から LINE 等での情報提供、伴走支援を実施した

目的:学校と地域をつなぐ学校・地域コーディネーターが活動しやすい環境づくりを支援する

日程:全 3 回開催

対象:学校・地域コーディネーター(磯子区)

参加人数:29 人

内容:第1回 学校運営協議会での立ち位置等を学校ごとに報告した。また、地域ケアプラザで活動をしている地域コーディネーターより、地域に関わる人への繋がり方のアドバイスをもらった

第2回 第一部として、各学校で講演会をしている講師を招いて講演会のやり方等を伺い、第二部は各学校のコーディネーターの活動の悩み、疑問を共有した

第3回 第一部として学校支援・地域連携課の方より会計・会計報告について伺い、質疑応答を行う。第二部は各学校のコーディネーターの活動の悩みや疑問を共有した

成果:学校・地域コーディネーターは学校ごとに活動しているため、各コーディネーターが活動に対して不安に思うことが多かったが、各学校の活動状況・情報や思いを共有する機会となり、不安が軽減できた。

また、学校支援・地域連携課の職員より直接お話を伺い、質問ができたことで、参加者から「有意義な時間を過ごせた」と感想があがった。さらに交流をすすめ、ネットワークを広げていきたい

③ 図書館と市民活動・生涯学習支援センターの連携支援

- ・図書館と市民活動・生涯学習支援センターに対して、情報共有や公表協力を行うことにより、互いの強みを生かせるよう協力した
- ・磯子図書館の「読み聞かせボランティア交流会」に参加し、施設や大型絵本に関するの情報提供
- ・「磯子図書館利用者懇談会」に出席し、磯子区の読書活動推進に関して意見交換を行った

④ 読書活動推進(読書活動推進プロジェクト)

目的: 読書に関心のある人のために本や紙芝居等をツールにした交流会や相互学習を行う機会の提供

日程: 年3回「大人が楽しむおはなし会」(2回)、スキルアップ講座「紙芝居の魅力」(1回)

対象: 各学校の図書ボランティア、絵本が好きな人、おはなしに関心のある人

参加人数 100人

内容: 「大人が楽しむおはなし会」では、読み聞かせ・ストーリーテリング・紙芝居・朗読などの演目を行い、読書活動への興味関心を持つきっかけとともに、経験者へのスキルアップの機会とした

講座「紙芝居の魅力」では実演を通して紙芝居の奥深さや面白さを味わう機会となった

成果: チラシを学校ポストと図書館に配布できたことで図書関係者に情報が行き渡り、定員を超える申し込みがあり、学習意欲に応えることができた

⑤ 磯子区NPO連絡会への参画

磯子区内の多様な市民活動団体が所属する磯子区NPO連絡会と連携して取組を実施

- ・いそご区民活動支援センターと共催して「地域活動フェス」に参画(12月13日参画)
- ・連絡会主催の「Christmas スペシャルイベント」を開催した(12月18日、会場: 杉田劇場ホール)

⑥ 磯子区館長連携会への参画

隔月で磯子区内地域施設の職員が集う情報交換の機会。施設の連携と情報共有をすすめるため、情報交換や連携を図り、協力して「いそっぴゴールデンウィーク 2025」を開催した

- ・当施設での景品交換数195人、スタンプ押印数652

⑦ 市内・区内の社会教育関係機関との連携

当法人が「担い手育成事業」や「職員研修」の依頼を受けている区を中心に、生涯学習担当者と連携を深めた。

同時に、教育委員会の研修で出会った区支援センター職員から講座内容や講師の紹介等の相談を受けた

事業の目標3 人材育成

地域の学びと活動を活性化させる人材の育成

① 社会教育・生涯学習関係職員への対応・サポート

各区支援センターや関係機関から寄せられた課題等について、適切な解決が図られるよう支援した。職員の来館や電話、研修現場などにおいて、担い手育成の講座内容や講師紹介の相談を受け、市民が主体的に活動するために職員が行う支援についてのスキルアップをサポートした。また、必要に応じて講座や研修の実施を行った

② よこはま社会教育士会 学習会・交流会の開催

目的:社会教育士の学びあうコミュニティを支えるために、情報・交流と力量形成に役立つ学びあいの場を提供
日程:全12回開催

対象:社会教育士および社会教育士をめざす人、地域活動者、コーディネーター

参加人数:122人

内容:地域課題や参加の関心のある学習テーマを設け、市民の学びや活動を支える担い手としての力をつけるために学びの場を運営した

課題:地域で活動している生涯学習支援者に周知・広報を工夫し、市民の学びを支える担い手を増やしていく

③ 社会教育士をめざす人の育成(全4回講座)

目的:社会教育士の役割を理解し、受講者が地域での学びを支援する担い手として活動できることをめざし、人材育成講座「みんなで地域の課題を解決する『社会教育士』を学んでみよう2025」を実施する

日程:全4回

対象:地域で市民活動をしている人、社会教育士または社会教育士をめざす人

参加人数:27人

内容:地域の課題解決に関わるプログラムの企画立案方法をグループでワークしながら実践的に学んだ。

他者と話し合うことで、社会課題の捉え方、ファシリテーションスキル、合意形成の方法などを理解した。

成果:講座内で企画した内容を、講座終了後に実際に連続講座として実施することができた。企画だけではなく実践として講座の運営を経験することができた(フェルト布絵本作り「りんごのたな」講座の実施)

課題:企画した講座を実施するための体制、準備等

④ 市民ニーズに合った市民企画 フェルト布絵本作り「りんごのたな」講座の実施

目的:市民のニーズを考え、市民に学びの場を提供する機会を企画し、実施する

内容:よこはま社会教育士会、学校・地域コーディネーター交流会の参加者、社会教育士の講座の修了者など

「学びの場づくり」に関心のある人を募り、市民が課題と考える講座の企画を実施した。今回は、布絵本から「バリアフリー図書を知る」をテーマとし、参加者がフェルト布絵本「りんごのたな」を作成した

日程:全4回

対象:バリアフリー図書に関心のある人、手仕事が好きの人

参加人数:106人(うち公開講座31人)

成果:講座内で企画した内容を実際に連続講座として実施した。企画だけではなく実践として講座の運営を体得することができた。講座終了後、布絵本作成グループが誕生し、担い手となることを目指す

課題:企画した講座を実施するための体制、準備等

⑤ 若者企画体験プロジェクト

社会教育実習生として学んだ大学生が、若者が社会参加のきっかけとして参加できる講座を考え、若者が社会教育施設に集う機会として「モルックを楽しもう！」の講座を企画・実施した

目的:若者(学生・企業人)が集い、自由な発想で活動できる場をつくり、プロジェクトを通して地域の異なる世代の人と関わる機会をもつ

内容:大学生が同世代を集める企画として「モルックを楽しもう！」を実施した。企画を実施することで主体的な社会参加を体験する

日程:全1回(11月30日)

参加人数:11人

成果:話題のゲームを楽しむことを通して、多世代の交流の機会をつくることができた。また、当企画の実施では、たきがしら会館(株式会社横浜・ビーコルセアーズ)から人工芝、磯子区社会福祉協議会からモルックの道具を借りる必要があった。そうした企業連携・地域連携の重要性、そのためにはコーディネーターとしての力量が欠かせないことを社会教育実習生が実感する機会となった

⑥ 地域活動の担い手育成(団体支援事業)

利用者会議の実施(活動団体ヒアリング)を経て、浮かび上がった団体活動の課題について、いかに解決し、乗り越えていくかを職員間で検討し、各団体にレクチャーの機会を設けた。また、団体の要望や成熟度によって、伝える内容を4種用意するとともに、見学会・体験会をはじめ体験講座の開催まで行った

目的:団体の活動支援

日程:全9回 1月19日～3月20日

対象:全6団体

参加人数:見学会・体験会:9回 実施 77人

内容:各団体の課題に合わせ、情報共有・連絡、チラシの作り方、体験会の実施、話し合いのヒントを各テーマとし、団体へのレクチャーの機会を設けた

成果:団体内での連絡方法の確立をはじめ自分たちの活動を社会に発信し、仲間を募り、活動を広げていこうという意欲が生まれた。特に、見学会・体験講座では、団体メンバーがチラシの作成や準備、申し込み者への対応等、役割分担を行い、主体的な動きが顕著となった。やりがいを見だし、次の見学会・体験会へのチャレンジへの意気込みも増した

課題:実施に至るまでの伴走支援が必要であり、すぐに結果が出なくとも主体的に活動していく意欲を引き出すことが重要だと考える

⑦ 企業連携

「交通安全フェスティバル」楽しみながら、交通ルールを知ろう！

目的:企業・地域団体と連携して地域の子どもたちに楽しく交通ルールを知ってもらい、地域づくりに貢献する

日程:9月27日

対象:地域の幼児とその保護者

参加人数:103人

内容:地域の交通ボランティア団体による標識魚釣り、クイックアーム、交通安全パネルクイズ、ヤマト運輸(株)によるトラック死角体験、磯子警察署によるミニパト移動交番、磯子消防署によるAED体験

成果:地域団体との連携、ヤマト運輸(株)との企業連携、磯子警察署、磯子消防署の協力により、地域の子どもたちに交通ルールの周知を行うと共に当施設を知ってもらう機会となった

地域課題への取組

① 困難を抱えた子どもたちへの学習支援

目的:学習障がいや生活困窮者自立支援制度に基づく貧困家庭への子ども達への継続的な学習支援

日程:全143回

対象:学習に困難を抱える学生

参加人数:2,283人

内容:学習障がいや、さまざまな理由で学習の遅れが生じている子どもを支援する企業や団体が主催する活動に対して、継続的な場を提供した
「自習支援ばれっとルーム」「磯子べんきょう会」

②「虹色カフェ」の開催

発達障がいな子どもをもつ保護者同士のピアカウンセリングの場。「虹色カフェ」

目的:発達障がいな子どもをもつ保護者同士のピアカウンセリングの場を開き、保護者の不安を聴き合い、仲間づくりの場を提供する

日程:全11回

対象:発達障がいな子どもをもつ保護者

参加人数:55人

内容:発達障がいな子どもをもつ保護者同士のピアカウンセリングの実施。「虹色カフェ」

成果:個別級・通級・放課後サービス等、他では得られにくい情報について保護者から聞くことで、少し先の将来について見通しが立ち、安心することができる場となった

広報・周知

- ・広報よこはま磯子区版およびいそご区民活動支援センター情報誌「いそつな」の担当スタッフを決め、情報を発信・掲載してもらう流れとした。年間の広報スケジュールを決め、市民の多様な関心ごとに対応できるよう心がけた。HP、X、Instagramにチラシをタイミングよく掲載することで若い年代にも情報を届けるよう努めた
- ・教育委員会生涯学習文化財課を經由して団体の担当者が学校ポストに出向き、チラシをポスティングしたことにより、講座の対象者に情報が届き、参加人数が増えた
- ・地域情報紙「タウンニュース」に講座情報を掲載するほか、磯子区役所や図書館、地区センター、福祉施設、子育て支援施設等にチラシを配架。コーナー前の掲示板に事業チラシを貼る等、積極的に周知した
- ・当施設のHP、法人のHP、メールマガジン・においても、事業の周知をし、実施後も法人の会報紙などで事業報告をしている
- ・講座やイベントの参加者へは、参加後の施設からの連絡希望をとり、次回の案内周知を行っている

職員研修

- ・市民局・教育委員会主催の研修、および当法人内での職員研修を重ねることで、専門的な知識やスキルアップの習得を行い、社会教育コーナーの設置目標に向かって専門性を高めた
- ・毎月の休館日等を職員研修に充て、全体研修12回を実施し、生涯学習・社会教育について毎回テーマを決めて研修を実施し、利用者のニーズに応えられるよう取り組んだ。(個人情報保護、地域の課題解決をするには、合意形成について、団体への支援、担い手育成(体験会の実施、場づくり)についてなど)

◆資料

1. 令和7年度 自主事業一覧
2. 令和7年度 利用料金収入一覧
3. 令和7年度 利用状況 年間報告書
4. 令和7年度 利用者アンケートまとめ
5. 令和7年度 利用者会議 報告書
6. 保守管理維持管理報告書の別添資料

横浜市社会教育コーナー 令和7年度事業報告書（自主事業一覧）

2026/4/12

事業実施の方針

市民が社会参加をしながら地域の課題をみつけ、主体的に課題を解決し、豊かな人生を送ることを目指します。社会教育施設として「学び」による地域づくり、つながりづくり、人づくりを推進した。

	事業名	目的	内容	目標回数	目標 延べ人数	実施回数	延べ人数	
事業の目標1 社会参加 主体的な参加の きっかけづくり	社会教育の場の運営	横浜市内を中心に各機関・施設・団体等の情報の収集・整理・発信を行い、市民や団体へ幅広く社会参加につながる情報の提供をし、社会参加のすそ野の見える化をすすめる	利用者が主体的に活動にかかわれるよう、挨拶や声かけなど職員が利用者とのコミュニケーションを積極的に図り、風通しの良い意見の言いやすい関係を構築した。研修室・アートルーム・スポーツ広場等の適切な管理と充実した運営を職員全員で遂行した	随時		随時		
	ホームページの管理		自主事業をはじめ市内機関・施設・団体のイベントや講座情報をSNSを活用して掲載し広く周知できるよう努めた	随時		随時		
	メールマガジンの発行		ホームページに掲載した情報を中心に機関・施設・団体等の各種情報を登録者に月1回発行した	12		12	162	
	ブログ・X・インスタグラムの配信		社会教育や学習に関する身近な情報をブログで発信し、社会教育や学習に関心をもってもらうきっかけとした。多様な世代に関心を持ってもらえるよう、文面等を工夫した	随時		145		
	情報発信		新たに社会参加に向かう人の参考になるよう、館内に活動団体の情報や作品を掲示し、参加意欲が高まるよう情報を提供した	随時		随時		
	相談・コーディネート		専門の職員(社会教育士や地域活動のコーディネーター)を配置し、市民の社会教育や生涯学習に関する相談、生涯学習関係職員の相談にきめ細やかに対応する	相談者の学習活動が活発になるよう助言や必要な情報を提供した。また、相談内容の記録を蓄積し内部で共有することにより相談業務を円滑に進めるとともにその後の展開に活かした	随時		随時	
	親子の広場		乳幼児をもつ親同士が子育てや社会的課題について学ぶとともにつながる機会をつくり、社会参加のすそ野を広げる	楽しい雰囲気の中で親子が交流を深めることで、この場で出会った親同士が誘い合わせで参加する場面も見られた	10	200	15	300
事業目標2 つながりづくり 多様な主体との 連携・協働の推進	社会参加場づくりと交流	地域や学校で読み聞かせやおはなし会をしている人たちに実践の場を提供することで、団体の活動の継続を支援する	活動団体にアンケートをとり、実施の希望や内容等を調整し実施した。団体の活動の場が広がるようコーディネートした	9	10	10	164	
	学校・地域コーディネーターのネットワークづくり	学校と地域をつなぐ学校・地域コーディネーターが活動しやすい環境づくりを支援する	交流・情報交換会を実施。課題共有・情報提供を行うことで、参加コーディネーターの不安を軽減することにつながった	3	10	3	29	
	図書館と市民活動・生涯学習支援センターの連携支援	図書館と市民活動・生涯学習支援センターが連携できるようコーディネートすることにより、双方の強みを生かした事業の実施を支援する	図書館と市民活動・生涯学習支援センターに対して、情報共有や広報協力を行うことにより、互いの強みを活かせるよう協力した	随時		随時		
	読書活動推進	横浜市内各区にある昔話やそれを元に作成した紙芝居等をツールにした交流会や相互学習を行う機会の提供	読書活動に関心を持つきっかけを作るとともに、経験者へのスキルアップの機会とした(「読書活動推進プロジェクト」)	1	20	3	100	
	磯子区NPO連絡会への参画	磯子区内のNPOと連携して事業を企画運営することにより、磯子区の様々な市民活動を活発にする	多様な団体と連携し、いそご区民活動支援センターと共催の「地域活動フェス」に参画したほか、連絡会主催のイベントを実施した	6		3	92	

	磯子区館長連携会への参画	磯子区内の施設の連携と情報共有をすすめる	磯子区内の地域施設の職員が集い、情報交換と連携を図るとともに「いそっぴーゴールデンウィーク2025」を開催した	6		6	
事業目標3 人材育成 地域の学びと活動を 活性化させる人材の育成	社会教育・生涯学習関係職員への対応・サポート	学習支援活動のための環境整備や主体的に活動する市民の育成など、学習を支援する職員としてのスキルアップをサポートする	職員から担い手育成の講座内容や講師紹介の相談を受けた。市民が主体的に活動するための支援について、スキルアップをサポートした	随時		随時	
	よこはま社会教育士ネットワーク交流会	社会教育士の学びあうコミュニティを支えるために情報・交流と力量形成に役立つ場を提供をする	よこはま社会教育士会と改称。地域課題や関心のある学習テーマを設け、市民の社会参加・学び合いを支える担い手として力をつける場を提供した【共催事業】	10	150	12	122
	社会教育士を目指す人の育成	地域の学びを支える社会教育士を目指す人のための人材育成講座。受講者が講座終了後、各区で学びを支援する担い手として活動できるようになることを目指す	社会教育士を理解するとともに、地域の課題解決に関わるプログラムの企画立案方法をグループワークで実践的に学ぶことで、社会課題のとらえ方、ファシリテーション、合意形成について理解した	4	20	4	27
	市民ニーズに合った市民企画の実施【新規】	市民のニーズに合わせ、今だから学びたいことに焦点を当て、多くの市民に学びの場を提供できる、連続講座を実施する	社会教育士講座の修了者や、よこはま社会教育士会、学校・地域コーディネーター交流会の参加者等が集い、企画立案。「布絵本からバリアフリー図書を知る」をテーマに、布絵本を作成した	4	30	4	106
	若者の社会参加 若者企画体験プロジェクト	若者(学生・企業人)が集い、自由な発想で活動できる場をつくり、プロジェクトを通して地域の異なる世代と関わる	社会教育実習生として学んだ学生が「モルックを楽しもう！」の企画の実施を通して、多様な世代が集い交流する企画を実施した	1	10	1	11
	地域活動の担い手育成	市民活動団体の会議や市民企画事業の会議など、会議ファシリテーションについて学び、地域づくりの実践的な力をつける	団体の課題に合わせ、情報共有・連絡、チラシ作成、体験会の実施、話し合いのヒントをテーマにレクチャーすることで活動を支援した	1	20	9	77
	企業連携	企業・地域団体と連携して社会に役立つ講座の実施を行う	地域の交通ボランティア団体と連携し、ヤマト運輸(株)や磯子警察署、磯子消防署の協力を得て、交通安全教室および施設紹介を実施した	1	20	1	103
地域課題への 取組み	困難を抱えた子どもたちへの学習支援	学習障がいを抱えたり、様々な理由で学習の遅れが生じている子どもの支援をする	学習障がいやさまざまな理由で、学習の遅れが生じている子どもを支援する企業や団体が主催する活動に対して、継続的な場を提供した「自習支援ばれっとルーム」「磯子ペンきょう会」	40		143	2283
	発達が気になりな子どもをもつ保護者のピアカウンセリング	発達が気になりな子どもをもつ保護者の仲間づくりの場を提供する	発達が気になりな子どもをもつ保護者同士のピアカウンセリングの場を開き、保護者の不安を聴き合い、仲間づくりを支援した	10		11	55
利用者の声を聞き 施設の運営に活かす	アンケート等	コーナーを利用する団体や事業に対してにアンケートを行う	利用者による施設利用の実態を調査し、日頃のニーズやコーナーへの要望などを把握し、運営や事業の参考とした。その他、実施事業ではアンケートや感想を聴き、次に生かした	1		1	328
職員研修	生涯学習・市民活動に関連する自主研修の設定および外部研修への参加	基礎研修の他、生涯学習や社会教育について、当団体のアドバイザー等による専門的な知識、スキルアップのための研修を行う。また、職員の外部研修等への積極的な参加を促す	社会教育施設として「学び」による地域づくり、つながりづくり、人づくりの推進のために職員研修を重ね専門性を高める努力を行った	随時		6	155

令和7年度 「横浜市社会教育コーナー」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	13,949,000		13,949,000	13,949,000	0	横浜市より
横浜市による運営支援	0	347,000	347,000	347,000	0	
利用料金収入	3,760,000		3,760,000	3,695,700	64,300	振込分含む
自主事業収入 (指定管理料充当の自主事業)	100,000		100,000	127,000	27,000	
自主事業収入	0		0	0	0	
雑入	271,000	0	271,000	252,419	18,581	
印刷代・ロッカー	150,000		150,000	141,803	8,197	
自動販売機手数料	21,000		21,000	23,620	2,620	
自動販売機電気料・目的外使用	100,000		100,000	86,020	13,980	
その他 ()	0		0	976	976	現金過不足
受取利息	0		0	8,050	8,050	
法人より	0		0	80,756	80,756	法人より
収入合計	18,080,000	347,000	18,427,000	18,459,925	32,925	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,650,000	0	12,650,000	12,432,159	217,841	
給与・賞金	11,800,000		11,800,000	11,668,300	131,700	日勤・夜勤スタッフ
社会保険料	520,000		520,000	483,409	36,591	
通勤手当	330,000		330,000	280,450	49,550	
健康診断費	0		0	0	0	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
事務費	1,035,000	0	1,035,000	1,806,348	771,348	
旅費	2,000		2,000	3,200	1,200	
消耗品費	180,000		180,000	784,230	604,230	モップ交換、蛍光灯、衛生用品、事務用品ほか
会議随費	0		0	0	0	
印刷製本費	200,000		200,000	277,125	77,125	利用許可証、リソインク代、マスター代、コピー代
通信費	280,000		280,000	301,927	21,927	通信費、通話料、プロバイダー
使用料及び賃借料	41,000	0	41,000	40,920	80	
横浜市への支払分	41,000		41,000	40,920	80	自販機目的外使用
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	136,632	136,632	
図書購入費	10,000		10,000	9,900	100	月刊社会教育
施設賠償責任保険	30,000		30,000	30,380	380	
サイバーリスク保険	41,000		41,000	41,150	150	
職員等研修費	6,000		6,000	0	6,000	
振込手数料	25,000		25,000	27,500	2,500	
リース料	160,000		160,000	153,384	6,616	PC2ヶ月分、コピー機、印刷機
ホームページ運営費	60,000		60,000	0	60,000	
地域協力費	0		0	0	0	
事業費	100,000	0	100,000	144,786	44,786	
自主事業費 (指定管理料充当の自主事業)	100,000		100,000	144,786	44,786	
自主事業費	0		0	0	0	
管理費	3,175,000	0	3,175,000	2,939,467	235,533	
光熱水費	1,680,000	0	1,680,000	1,672,713	7,287	
電気料金	1,500,000		1,500,000	1,498,290	1,710	
ガス料金	0		0	0	0	
水道料金	180,000		180,000	174,423	5,577	
清掃費	800,000		800,000	773,334	26,666	朝清掃(週2日)、定期清掃(年6回)
修繕費	300,000		300,000	92,400	207,600	ボイラー開栓・卓球台補修、スロップシンク排水詰まり工事、壁・ドア各所補修工事
機械警備費	172,000		172,000	177,540	5,540	ALSOK
設備保全費	187,000	0	187,000	187,000	0	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	
消防設備保守	81,000		81,000	81,400	400	消防設備点検(総合・機器 各年1回)、防火対象点検(年1回)
電気設備保守	40,000		40,000	39,600	400	自動ドア
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	66,000		66,000	66,000	0	建物設備点検(年4回)
共益費	36,000		36,000	36,480	480	UR共益費・割賦金
公租公課	880,000	0	880,000	911,632	31,632	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	800,000		800,000	834,900	34,900	
印紙税	0		0	1,000	1,000	
その他(法人税等・所得税)	80,000		80,000	75,732	4,268	法人税・県民税・市民税等、受取利息所得税
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	200,000	0	200,000	185,533	14,467	
本部分	0		0	0	0	
当該施設分	200,000		200,000	185,533	14,467	税理士・社労士顧問料按分185,533円(合計1,113,200円÷6事業)
二一ズ対応費	40,000		40,000	40,000	0	ピアノ調律40,000円(年2回)
支出合計	18,080,000	0	18,080,000	18,459,925	379,925	
差引	0	347,000	347,000	0	0	

自主事業費収入	100,000			127,000		
自主事業費支出	100,000			144,786		
自主事業収支	0			17,786		
管理許可・目的外使用許可収入	121,000			109,640		
管理許可・目的外使用許可支出	41,000			40,920		
管理許可・目的外使用許可収支	80,000			68,720		

令和7年度「横浜市社会教育コーナー」収支予算書及び報告書

Table with columns: 科目, 当初予算額 (A), 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月, 1月, 2月, 3月, 収入合計 (B), 差引予算額 (A)-(B), 説明. Rows include 指定管理料, 横浜市による運営支援, 利用料金収入, etc.

Table with columns: 科目, 当初予算額 (A), 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月, 1月, 2月, 3月, 支出合計 (C), 差引予算額 (A)-(C), 説明. Rows include 人件費, 消耗品費, 会議費, 印刷製本費, 通信費, etc.

Summary table with columns: 項目, 金額. Rows include 自主事業費収入, 自主事業費支出, 管理許可: 目的外使用許可収入, etc.

2024年度受領した次年度分

単位:円

一般利用	月	研修室A/B	研修室C	アートルーム	トレーニングルーム	スポーツ広場	付帯設備	返金	計	コピー	印刷	ロッカー	累計
	2月	24,000	16,000	44,800	49,600	32,400	9,200	-600	175,400	0	0	0	175,400
	3月	33,600	39,000	59,200	71,200	50,400	10,900	-1,900	262,400	0	0	0	262,400
	計	57,600	55,000	104,000	120,800	82,800	20,100	-2,500	437,800	0	0	0	437,800

2025年度利用料金収入

単位:円

一般利用	月	研修室A/B	研修室C	アートルーム	トレーニングルーム	スポーツ広場	付帯設備	返金	計	コピー	印刷	ロッカー	累計
	4月	75,000	35,000	75,200	83,200	46,100	13,800	-7,850	320,450	3,950	2,515	50,000	376,915
	5月	57,600	50,000	73,600	95,200	53,300	16,600	-17,400	328,900	3,290	4,722	6,800	343,712
	6月	48,600	26,000	75,200	74,400	50,500	12,200	-4,300	282,600	5,490	3,717	0	291,807
	7月	39,000	36,000	75,200	79,200	47,800	15,100	-2,900	289,400	5,422	2,706	0	297,528
	8月	85,200	25,000	73,600	71,200	51,000	14,200	-11,300	308,900	1,690	3,053	0	313,643
	9月	53,400	39,000	75,200	77,600	59,300	15,000	-1,000	318,500	4,360	2,443	0	325,303
	10月	37,800	40,000	60,800	92,800	44,700	15,200	-10,500	280,800	3,810	1,309	0	285,919
	11月	48,000	29,000	68,800	76,000	41,100	16,500	-6,350	273,050	2,820	2,339	3,000	281,209
	12月	44,400	30,000	67,200	70,400	46,200	12,800	-2,250	268,750	1,870	1,788	1,000	273,408
	1月	39,000	27,000	80,000	83,200	38,800	13,700	-600	281,100	4,380	3,713	0	289,193
	2月	25,800	10,000	12,800	30,400	28,800	1,800	-5,350	104,250	4,118	1,359	0	109,727
	3月	10,800	1,000	1,600	8,800	27,600	900	-700	50,000	3,090	2,049	0	55,139
計	564,600	348,000	739,200	842,400	535,200	147,800	-70,500	3,106,700	44,290	31,713	60,800	3,243,503	

2025年度横浜市社会教育コーナー利用状況年間報告書

部屋別及び時間帯別

		研修室 A	研修室 B	研修室 C	アール ルーム	トレー ニング ルーム	交流ス ペース	スポー ツ広場	合計	午前	午後	夜間	合計
利用人数 (単位:人)	本年	8,216	7,137	3,188	9,950	10,547	3,161	2,409	44,608	19,862	16,853	7,893	44,608
	前年	7,867	7,226	2,779	8,427	11,331	3,544	2,277	43,451	19,612	17,546	6,293	43,451
利用コマ数	本年	643	500	405	616	1,209	0	621	3,994	1,708	1,616	670	3,994
	前年	650	492	358	516	1,144	0	609	3,769	1,692	1,474	603	3,769
総コマ数 (2025年度)		1,946	1,946	973	973	1,946	0	1,111	8,895	3,309	3,322	2,264	8,895
利用率	本年	33.0%	25.7%	41.6%	63.3%	62.1%	-	55.9%	44.9%	51.6%	48.6%	29.6%	44.9%
	前年	33.4%	25.3%	36.8%	53.1%	58.8%	-	61.3%	43.0%	52.1%	45.2%	26.7%	43.0%
利用率前年対比		98.9%	101.6%	113.1%	119.4%	105.7%	-	102.0%	106.0%	100.9%	109.6%	111.1%	106.0%

月別合計数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数 (単位:人)	本年	3,462	4,259	3,902	3,481	2,785	4,625	3,733	3,404	3,181	3,993	3,453	4,330	44,608
	前年	3,627	3,831	3,574	3,264	2,661	4,381	4,092	4,690	3,114	3,204	3,073	3,940	43,451
利用コマ数 (※1)	本年	344 (289)	360 (314)	349 (290)	338 (285)	271 (218)	371 (308)	338 (295)	316 (262)	302 (254)	325 (284)	320 (275)	360 (299)	3,994 (3,373)
	前年	334 (262)	337 (266)	309 (265)	253 (253)	216 (201)	330 (280)	338 (278)	363 (305)	298 (232)	306 (251)	325 (270)	360 (297)	3,769 (3,160)
総コマ数 (2025年度)		751 (656)	765 (672)	750 (656)	774 (680)	739 (672)	744 (648)	767 (680)	756 (648)	689 (600)	704 (600)	692 (600)	764 (672)	8,895 (7,784)

※1:()内数字は研修室A~C・アートルーム・トレーニングルーム5部屋分のコマ数

利用率 (※2)	本年	44.1%	46.7%	44.2%	41.9%	32.4%	47.5%	43.4%	40.4%	42.3%	47.3%	45.8%	44.5%	43.3%
	前年	39.9%	39.6%	40.4%	37.2%	29.6%	43.8%	40.9%	46.5%	39.2%	43.0%	44.4%	44.2%	40.6%
利用率前年対比		110.3%	118.0%	109.4%	112.6%	108.5%	110.0%	106.1%	85.9%	109.5%	113.1%	101.9%	100.7%	106.7%

※2:利用率は研修室A~C・アートルーム・トレーニングルーム5部屋分となります。上記「月別合計数」表内の()内数字で計算

※2024/6/19~2024/8/13フェンス破損の為スポーツ広場使用休止

2025年度 利用者会議 報告書（活動団体ヒアリングまとめ）

社会教育コーナーで活動する団体を応援する目的で、団体にヒアリングを行いました。それぞれの活動がより楽しく、より広がるように、団体の現状や課題等を丁寧に聞きました。

【ヒアリングスケジュール】

・2026年1月9日～2月1日

【ヒアリング実施団体】

	団体名	ジャンル	実施日
1	横浜いそご友極会	太極拳	1月9日
2	いそごまごころ句会	俳句	1月11日
3	水伸会	書道	1月14日
4	磯子日本語の会・夜の会話サロン	日本語学習	1月14日
5	フラワーサークル face	フラワーアレンジ	1月16日
6	ピンポン	卓球	1月19日
7	ゆっくり英会話の会	英会話	1月19日
8	ロンロン	健康マージャン	1月19日
9	おもしろ工作会	子どもの工作体験	1月19日
10	シャンシャン	健康マージャン	1月19日
11	すばる太極拳	太極拳	1月20日
12	波瑠の会	絵画	1月24日
13	合唱団「道」	合唱	2月1日

1. 横浜いそご友極会

【メンバーについて】

- ・17名 70代中心(男女比 1:9)
- ・メンバーが多く、欠員も出ていない。これ以上増えると活動が難しくなるため、新規メンバーの募集は行っていない。
- ・仲間で楽しく活動できていて、連絡方法も円滑である

【活動・団体運営の工夫、困りごとなど】

- ・代表者、予約の担当者を一年交代とし、スムーズに引き続く流れができています
- ・活動や運営で困っていることはない
- ・発表会をしたり、お揃いの衣装を作ったりして、楽しい活動ができています
- ・お互いに「ありがとう」を伝えあうことができる団体である

2. いそごまごころ俳句会

【メンバーについて】

- ・5名 70代(女性のみ)
- ・メンバーを増やしたい気持ちはあるが、俳句の先生が体調不良のため、現状では人数を増やすことは難しい

【活動・団体運営の工夫、困りごとなど】

- ・活動にあたっての困りごとは、その都度コーナーの職員に伝え、対応してもらっている
- ・電話連絡で問題なくできている
- ・気持ちよく活動することができている

3. 水伸会

【メンバーについて】

- ・6名 60代(男女比 2:1)
- ・参加人数が少なく、メンバーを増やしたいと思い、メンバー募集をしているが増えない
- ・書道の団体なので、PRの方法や場、体験会といった機会が欲しい

【活動・団体運営の工夫、困りごとなど】

- ・連絡は電話で行っており、スムーズな活動ができています

4. 磯子日本語の会・夜の会話サロン

【メンバーについて】

- ・7名 70代(男女比 1:6)
- ・参加者が高齢であることから休みがちである。そのため、ある程度人数が欲しい
- ・メンバー募集をしている

【活動・団体運営の工夫、困りごとなど】

- ・スタッフの募集チラシを作りたい。現在は参加者を募るチラシだけのため、活動を一緒に担ってくれるスタッフを増やし、活動の基盤強化を図りたい

5. フラワーサークル face

【メンバーについて】

- ・8名 60代中心(男女比 1:9)
- ・参加人数が少なく、メンバーを増やしたい

【活動・団体運営の工夫、困りごとなど】

- ・いつもの活動とは別に、子ども向けのフラワーアレンジメントの活動をしてみたい
- ・体験会というかたちで広く参加者を募集して一回限りではなく、継続して活動していきたい
- ・保育のサークルとつながり、小さい子どものお母さん向けの会もやってみたい

6. 団体名:ピンポン

【メンバーについて】

- ・10名 70代中心(男女比 3:7)
- ・2台の卓球台を使用して活動しているので、人数的にはちょうどよい
- ・和気あいあい楽しく運動と交流ができています

【活動・団体運営の工夫、困りごとなど】

- ・参加時の次回出席確認とLINEを併用して、無理のない活動をすすめている
- ・グループLINEの使い方など、自分たちで使いこなせるようLINEの活用講座があるとうれしい

7. ゆっくり英会話の会

【メンバーについて】

- ・11名 70代~80代前半(男女比 4:6)
- ・メンバーは常に募集している。募集チラシに代表2名の連絡先を載せ、趣旨を詳しく説明してから見学という流れにしている

【活動・団体運営の工夫、困りごとなど】

- ・外に出ることに意味があると考え、活動そのものの他に、ランチや飲み会、見学会など、メンバーで外出する機会を大切にしている
- ・厳しすぎず、ゆっくりとをモットーに、活動を続けている

8. ロンロン

【メンバーについて】

- ・8名 60代~70代(男女比:5:5)
- ・会員募集をしている。初回は無料にして、次回以降で会費を納めてもらうようにしている

【活動・団体運営の工夫、困りごとなど】

- ・以前、女性の参加者から、ゲームのルールが「厳しすぎる」と言われたこともある。そのため、ゆるやかなサークル活動を心がけている
- ・女性が入りづらい雰囲気があるのかもしれないので、どのような工夫が必要か、アドバイスがほしい

9. おもしろ工作会

【メンバーについて】

- ・8名 60代～70代(男女比 5:3)
- ・団体活動のきっかけがアマチュア無線の仲間だったため、メンバー募集はこれまでしてこなかった。今後、同年代で工作好きな人がいれば、メンバーに加わってもらいたい

【活動・団体運営の工夫、困りごとなど】

- ・メンバー間の連絡はメールや、ホームページの掲示板を使っている
- ・体験会のような場があれば参加して、活動のPRとメンバー募集を行いたい
- ・工作会の講師を頼まれた際の、進行や段取りなどのノウハウを学びたい

10. シャンシャン

【メンバーについて】

- ・15名 70代中心(女性が多い)
- ・メンバーは増やしたいが、ロコミや知り合いを通じて、少しずつ広がって行けばいいと思う

【活動・団体運営の工夫、困りごとなど】

- ・メンバーが増えてきたので今後、連絡網を作るかメンバーと相談していく予定
- ・活動を通じての場づくりの楽しさを、コーナーで学んできた。麻雀だけを行うのではなく、イベント(誕生会や節目のお祝いなど)等も企画している

11. すばる太極拳

【メンバーについて】

- ・12名 70代中心
- ・知り合いに活動の誘いの声かけをしているが、チラシを作ったの募集はしていない

【活動・団体運営の工夫、困りごとなど】

- ・特に困っていることはない。仲間同士でサポートし合いながら活動を続けていきたい

12. 波瑠の会

【メンバーについて】

- ・9名 70代～80代(男女比 1:2)
- ・80代のメンバーが増え、もう少し若い方や、人数を増やしたいと考えている

【活動・団体運営の工夫、困りごとなど】

- ・体験会を行ってメンバーを募りたい
- ・体験会をどう開催するか等、そのためのノウハウをコーナーに教えてもらいたい

13. 合唱団「道」

【メンバーについて】

- ・36名 70代～80代(男女比 1:2)
- ・最大80名いたが、高齢化によりメンバーが減少している

【活動・団体運営の工夫、困りごとなど】

- ・メンバーを募集しているがなかなか集まらない。夜の練習がネックになっていると考える
- ・ホームページやYouTube、ロコミで広げていきたい

以上

横浜市社会教育コーナー2025 年度アンケート集計結果

実施期間:2025 年 11 月 18 日~12 月 17 日

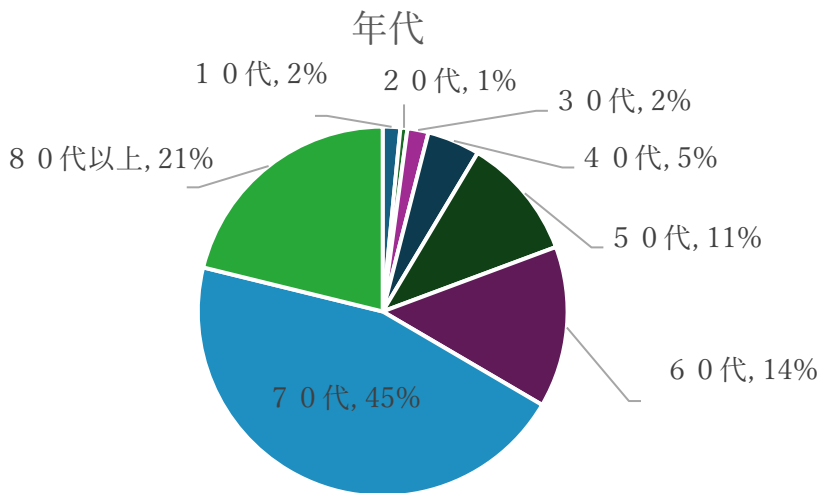
配布数:439 枚 総回収数:328 枚 回収率:75%

統計データは各設問の有効回答数を基に作成

1-1:年代

□10 代以下 : 5 名 □20 代 : 2 名 □30 代 : 6 名 □40 代 : 15 名

□50 代 : 35 名 □60 代 : 46 名 □70 代 : 148 名 □80 代以上 : 69 名



n=326

1-2:居住区

□磯子区 : 179 名 □他区 : 117 名 □市外 : 30 名

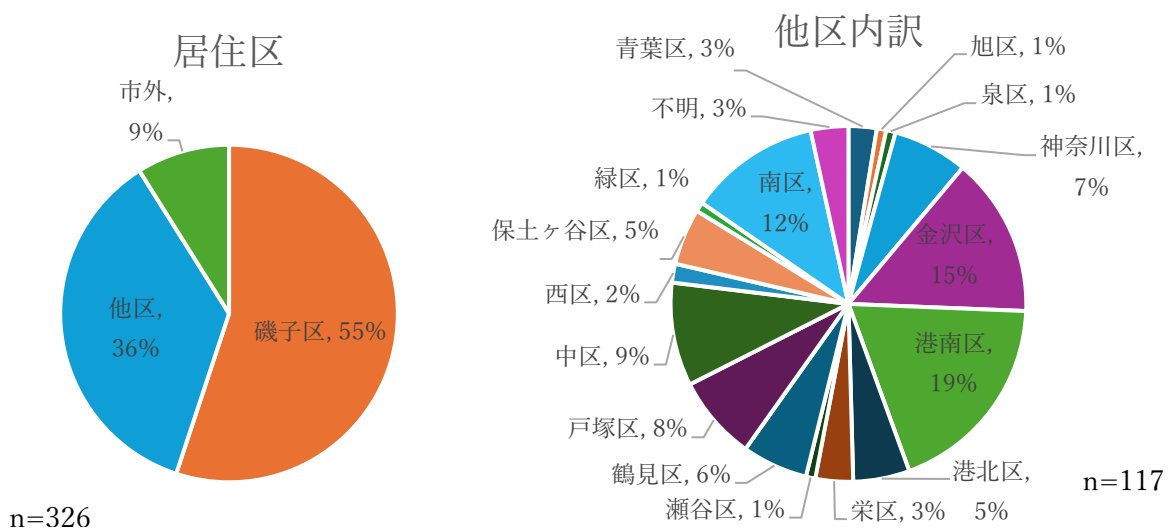
(他区内訳)

□青葉区 : 3 名 □旭区 : 1 名 □泉区 : 1 名 □神奈川区 : 8 名

□金沢区 : 17 名 □港南区 : 22 名 □港北区 : 6 名 □栄区 : 4 名 □瀬谷区 : 1 名

□鶴見区 : 7 名 □戸塚区 : 9 名 □中区 : 11 名 □西区 : 2 名 □保土ヶ谷区 : 6 名

□緑区 : 1 名 □南区 : 14 名 □不明 : 4 名

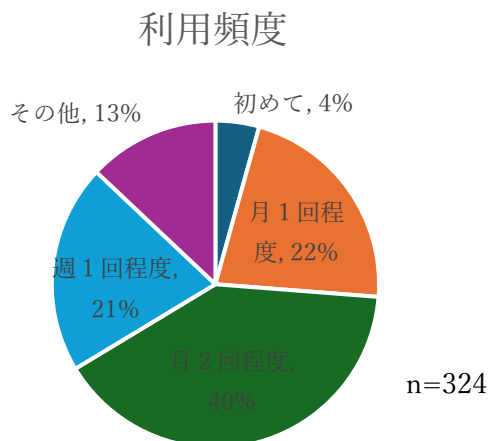


n=326

n=117

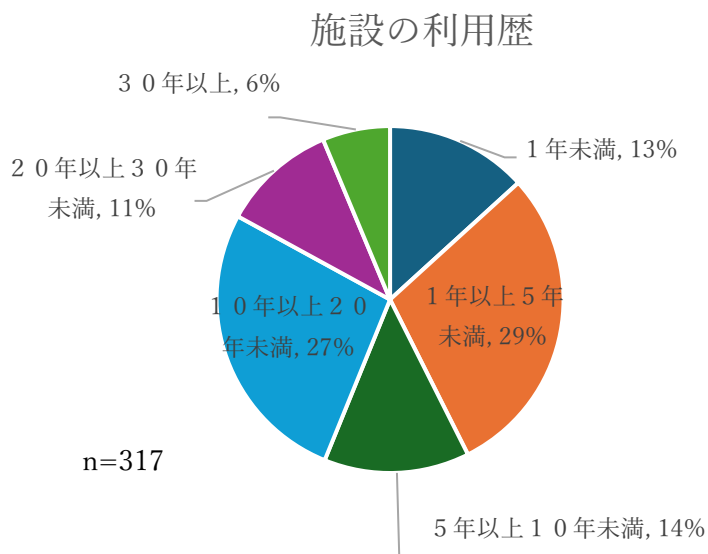
1-3:施設の利用頻度

□初めて：14名 □月1回程度：71名 □月2回程度：130名 □週1回程度：67名
□その他：42名



1-4:施設の利用歴

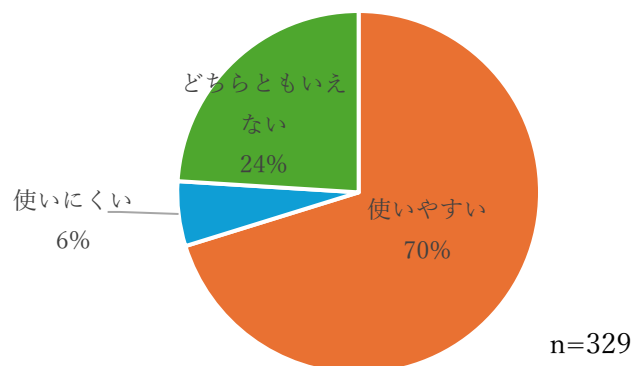
□1年未満：42名 □1年以上～5年未満：93名 □5年以上～10年未満：43名
□10年以上～20年未満：85名 □20年以上～30年未満：34名 □30年以上：20名



2-1:施設は使いやすいですか。

□使いやすい：231名 □使いにくい：19名 □どちらともいえない：79名

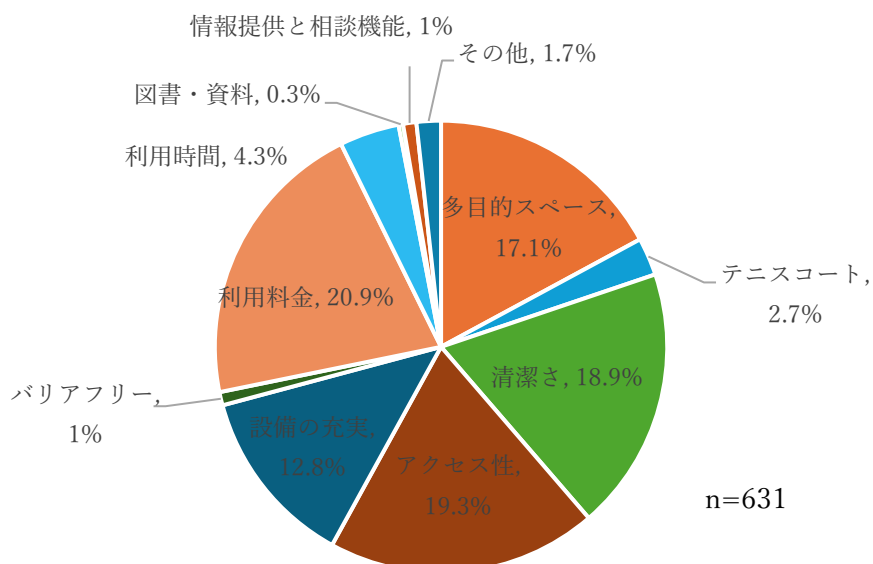
施設の使いやすさ



2-2:施設の使いやすい点はどこですか。(複数回答可)

□多目的に使用できるスペースがある：108名 □テニスコートがある：17名
□施設が清潔に保たれている：119名 □アクセスの良さ：122名
□設備が整っている（机・椅子・Wi-Fiなど）：81名 □バリアフリー対応：6名
□利用料金が手ごろ：132名 □利用時間の柔軟性：27名 □図書・資料の充実：2名
□情報提供・相談機能の充実：6名 □その他：11名

施設の使いやすい点



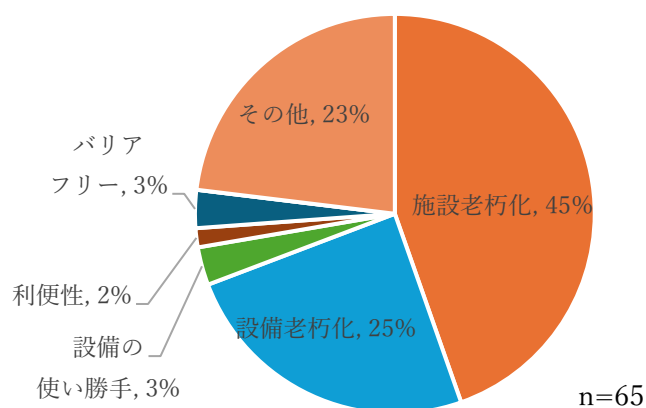
【コメント抜粋】

- ・落ち着いた環境でそこそこ広くて良いです
- ・駅から近い事
- ・冷暖房が利用料の中で使用できるのがとても良い
- ・石こうがたくさんあってうれしい
- ・トレーニングルームに鏡がある

2-3:施設の使いにくい点はどこですか。(複数回答可)

- 施設が老朽化している：29名 設備が老朽化している：16名
- 設備等の使い勝手（机、椅子、その他備品等）：2名 利便性が悪い：1名
- バリアフリー対応が不十分：2名 図書・資料が不足している：0名
- その他：15名

施設の使いにくい点

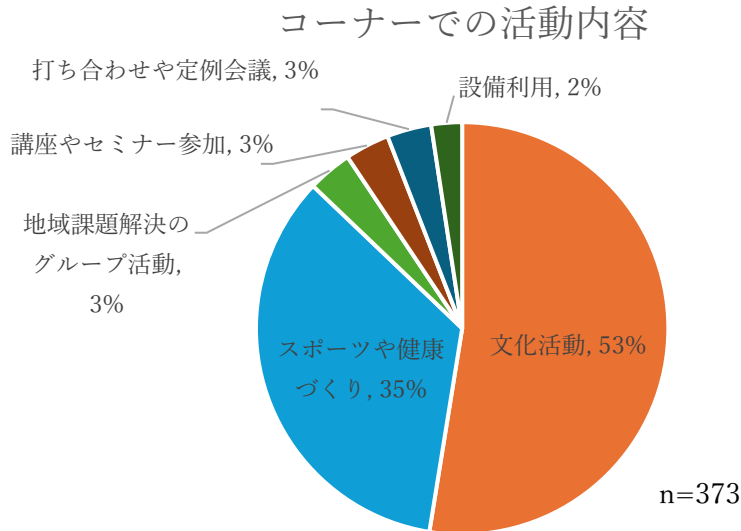


【コメント抜粋】

- ・抽選はネットで願いたい。トイレをもっときれいに使いやすくしてほしい
- ・予約手続きをネット、web活用して欲しい
- ・トレーニングルームの床がすべってこわい
- ・テニスコートのひび割れにボールが入りやりにくい
- ・ていねいに使用していて、気を使って使用をしているつもりですが、しばしば音がうるさいと苦情をもらう。設備の工夫でなんとかならないか
- ・Wifiがアートルームでは入らない。トイレにウォッシュレットがない。電車の音がうるさい（線路側の部屋）
- ・予約方法を簡素化して欲しい

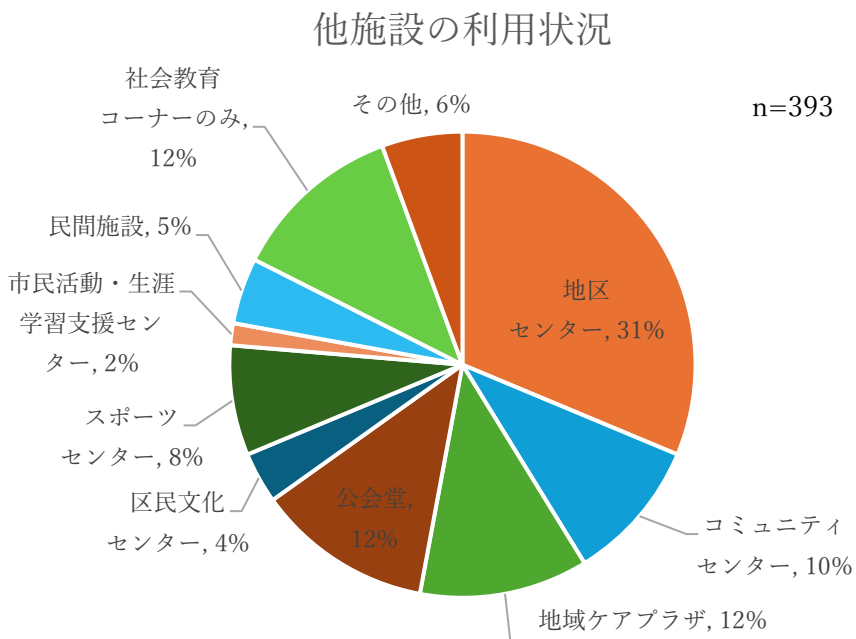
3-1:社会教育コーナーではどのような活動を行っていますか？（複数回答可）

- 教養や趣味の文化活動：196名
- スポーツや健康づくりの活動：129名
- 地域活動の解決に向けたグループ活動：13名
- 講座やセミナーへの参加：13名
- 打合せや定例会議：13名
- 施設の設備の利用（情報収集、印刷、読書、WiFiなど）：9名



3-2:①で答えた活動について、他にどのような施設でおこなっていますか。（複数回答可）

- 地区センター：123名
- コミュニティハウス：39名
- 地域ケアプラザ：46名
- 公会堂：48名
- 区民文化センター：14名
- スポーツセンター：30名
- 市民活動・生涯学習支援センター：6名
- 民間施設：18名
- 社会教育コーナーでしか活動していない：47名
- その他：22名



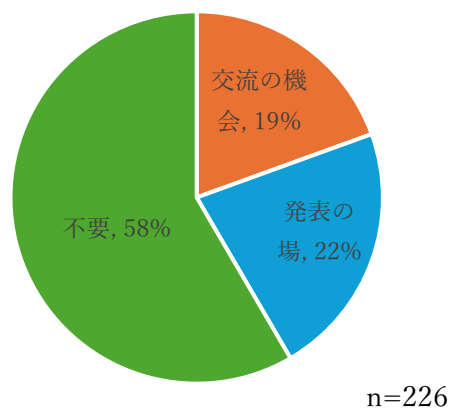
【その他コメント】

- ・公園
- ・町内会館
- ・市営コート
- ・本牧市民コート
- ・男女参画フォーラム
- ・親と子のつどいの広場
- ・ボランティア
- ・NPO 法人絵画教室
- ・磯子センター
- ・さくらリビング（青少年交流、活動支援スペース）
- ・県民センター
- ・区分の定義がよくわかりませんので回答困難です
- ・アースプラザ本郷台
- ・区社会福祉協議会
- ・図書館、磯子区民活動センター
- ・磯子図書館
- ・学校体育館
- ・消防署

3-3：他団体との交流の機会、または今後のようなイベントがあるとよいですか。

□交流の機会：44名 □発表の場：50名 □不要：132名

交流・イベントの要望



【希望するコメント抜粋】

- ・発表会など他にどんな活動団体があるか知りたい
- ・利用されている団体との文化祭。数が多ければ春・秋と分ける等して
- ・以前開催してくださった利用団体交流会（笑いヨガの時です）はとてもよかったです！
- ・テニス教室等

- ・文化祭みたいなものがあったらいい
- ・絵の展示などがあるので、その際半日でも団体の方の説明や活動体験や見学があるとさらに関心が高まります
- ・子ども向け（小中学程度）や、親子イベント

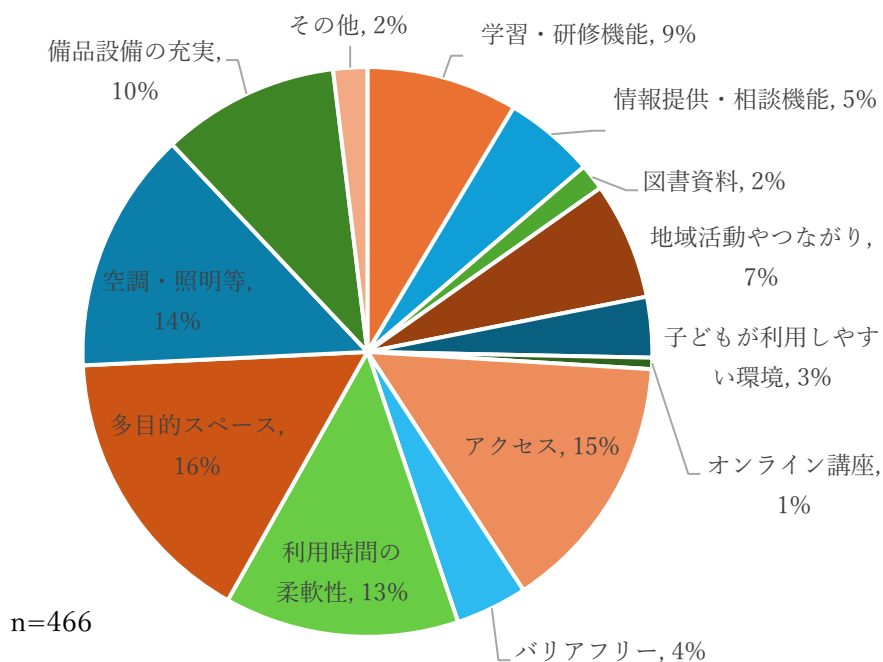
【希望しないコメント抜粋】

- ・今は健康目的が多い
- ・現在のままでよい

3-4：今後活動するにあたり、社会教育施設に求める機能や環境について、どのような点を重視したいですか？（複数回答可）

- 学習、研修機能の充実：40名 □情報提供・相談機能の充実：24名
- 図書・資料の充実：7名 □地域活動・地域とのつながり：31名
- 子どもが利用しやすい環境：16名 □オンライン講座：3名
- アクセスの良さ：69名 □バリアフリー対応：19名 □利用時間の柔軟性：62名
- 多目的に使える柔軟なスペース：75名 □空調・照明など快適な環境：64名
- 備品等設備の充実：47名 □その他：5名

社会教育施設に求めるもの



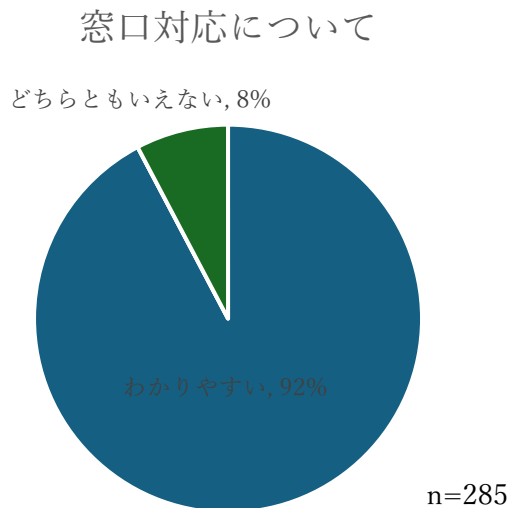
【コメント抜粋】

- ・予約方法の簡便さ
- ・トレーニングルームの床の清掃方法を考えて欲しい
- ・施設が老朽化しているので雨もりがある
- ・防音機能。ご近所に配慮できる防音にしてほしい

- ・コート改修
- ・wifi がどこでもつながること。トイレにウォッシュレットをつけること
- ・トレーニングルームの床が老朽化しています。冬は冷たくて…なかなか床が温まりません

4-1：窓口の対応はわかりやすいですか。

□わかりやすい：263名 □わかりにくい：0名 どちらともいえない：22名

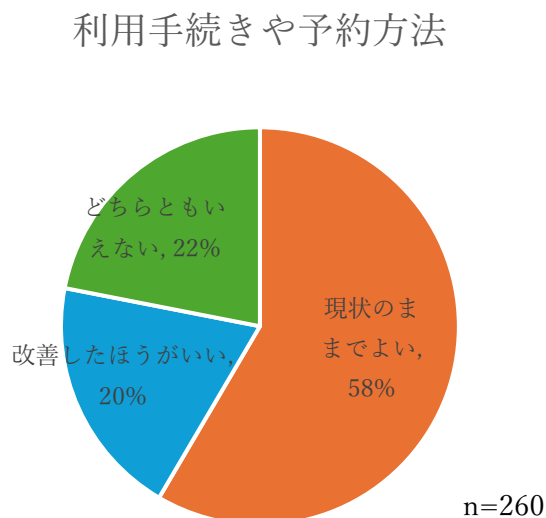


【コメント抜粋】

- ・津波警報の時の対応が親切でありがたかったです
- ・いつも親切で、丁寧。明るい対応がとても良い
- ・いつも本当に丁寧かつ柔軟に対応してくださり感謝しています
- ・職員の「おはようございます」の声かけがうれしいです
- ・他の人が対応しているのでわからない

4-2：利用する際の手続きや予約方法について、どう思いますか。

□現状のままでよい：152名 □改善したほうがいい：51名 どちらともいえない：57名



【コメント抜粋】

- ・年配の方は現状が良いと思いますが、SNS での予約も便利で良いのでは
- ・予約の取消しが「申し込後 1 週間以内が無料」というのは不合理。予約した「実施日の 1 週間前までが無料取消」が妥当
- ・社教での月一の抽選ではなく、ネットと電話申込みの両方で可能になるようなシステムを
- ・予約枠を増加して欲しい
- ・わざわざ足を運んで予約せねばならない。ネット予約にして利用当日支払が有難い
- ・申込の際の昔ながらの抽選方式は改善した方がよい
- ・予約 5 回までの回数を 6 回にして欲しい。月 2 回実施しているので予約が月 2 回にわたってしまいます
- ・予定が変更になる事があるのでキャンセルが実施日に近いと大変助かります
- ・毎回 1 枚ずつ予約票を記入。活動内容や団体名は、登録番号によって代替できないでしょうか
- ・インターネットでの申し込みがあると便利
- ・同日 1 コマしか申込みない点（多くの方が利用できるようにとの配慮だとは思いますが）2 時間 1 コマの部屋は利用しづらい。1 週間前まで待てない
- ・予約のしやすさ、午前、午後同時に予約したいときがある
- ・ネット対応して欲しい。予約や支払い。又予約変更を柔軟にして欲しい

5：その他、この施設についてご意見等がありましたらお書きください。

【良い点】

- ・清潔感があって安心（掃除など）どこもきれいで気持ちがいいです！
- ・古い建物にもかかわらず、いつもきれいにしていただき、努力が素晴らしい！
- ・いつも笑顔で接してくれてうれしいです
- ・現状に不満は無し、今後も継続使用出来ることを希望する！！
- ・このようなアンケートをとることはよいことだ
- ・磯子駅にも上大岡からも近く便利しています

【要望】

- ・トイレ設備の改善
- ・とても古いと思いますが、きれいに使用されています。中庭のスペースが余白を感じさせられますが、もう 1 つ何か工夫があると良いと思います
- ・もっと PR をしてほしい
- ・スポーツ広場・コートメンテナンスを充実して欲しい
- ・音出し OK の部屋が増えるといいと思います
- ・多目的室（運動の出来るコーナー）は、コンクリートの上にビニールではなくて出来たら板敷にして欲しい
- ・トレーニングルームのヨガマットの清掃の仕方やマットの重ね方なども、マットそばに書いてあると良いと思います。又、ゴミ箱は欲しいです。そうじをしているので…